

『リベラルアーツ学群プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この履修モデル集は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

履修モデル集は、各プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望するプログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・特に、プログラムのカリキュラムが、先修条件が設定されていて履修順序に留意する必要があるのか、比較的自由に履修できるのかで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各プログラムを修了するためにはメジャー32単位、マイナー16単位の科目を修得することが必要ですが、どのプログラムも、それを上回る数の科目を提供しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたテーマの例にそったカリキュラムを示したものです。
- ・各プログラムの「履修モデル」ページには、そのプログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目(教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目)です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、そのプログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、30のプログラムがありますが、この冊子には、各プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心あるプログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、モデルのとおり履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

アジア研究プログラム

<p>履修のしかた</p> <ul style="list-style-type: none">・アジア研究プログラムで勉強できる地域： 東北アジア(日本・中国・韓国・モンゴルなど)、西アジア(イラン・イラク・サウジアラビアなどの中東諸国)、東南アジア(カンボジア・インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポール・タイ・ベトナムなど) オセアニア(オーストラリア・ニュージーランド)・アジア研究プログラムで勉強できる分野： アジアの国際関係、日中関係、日米関係、日韓関係、アジア地域の政治・経済・文化・宗教・歴史・留学・国際協力・ODA・NGO 活動・1年次に履修しておいた方がよい科目：アジア研究概論 A・B、イスラーム史概論(ただし、どちらも必須ではない)・2年次に履修しておいた方がよい科目：東アジアの開発と政治 I・II。合わせて専攻したい地域、たとえば東南アジア、の科目を意識して、当該地域関係の科目から取り合えず、興味のある科目から履修してみよう。・2年次以降に履修できる科目： アジアの歴史 IA・IB、アジアの歴史 IIA・IIB、比較政治 IIA・IIB(マレーシア・シンガポールの政治史)、ASEAN をめぐる国際関係 I・II、アジアの経済、アジアの思想と宗教 I・II、オセアニアの政治と経済 I・II、中国文化論、東アジアの現代社会 I・II、日韓交流史、日韓関係論、韓国文化論、アジア研究特論(モンゴルに関する諸問題)、イスラーム史概論、イスラーム思想、イスラームの法と社会、中東近現代史。興味のある地域科目から3~4科目を重点的にとることが一般的です。
<p>他のプログラムとの関係</p> <ul style="list-style-type: none">・特に関連性の強いプログラム：文化人類学、歴史学、国際協力
<p>留学・教職その他</p> <ul style="list-style-type: none">・留学、GO プログラムで、中国大陸、台湾、韓国、豪州などへ出かける学生は、語学だけでなく、現地の博物館(動植物園を含む)や歴史的遺跡などを訪ねてください。・教職 4年生になると就職活動や実習が入るので、3年次までに計画的に、教職に充当できるプログラム科目を履修しておくこと。・毎年開催しているイベント：講演会は非定期的に行われていますが、日時等についてはその都度掲示します。
<p>学生へのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none">・真の国際的人材、世界のどこでも活躍できる人材になるためには、まず身近のアジア地域から勉強を始めましょう。

アジア研究プログラム

1 東南アジア研究・広域アジア研究・履修モデル

本履修モデルは、中国とインドの社会文化の合流点である東南アジア諸国の政治・経済・社会の動向とアジア太平洋の国際関係を学びたいという学生向けの履修モデルです。東南アジア研究を希望する学生は、東アジアの開発と政治I・IIを履修後、比較政治IIA・IIBなどの東南アジア研究のカテゴリーの科目を優先的に履修すると良いでしょう。

アジア太平洋の国際関係を学びたいという学生は、ASEANをめぐる国際関係I・II、国際機構論、国際政治学等と、広域アジア研究のカテゴリーの科目を優先的に履修することを薦めます。なお、専攻演習・卒業論文は必修ではありませんが、政治学・経済学・社会学・文化人類学等の分析枠組を身につけるためには必要な科目です。

専攻演習I、専攻演習IIだけは、少なくとも取っておいた方が、就職試験で「大学で何を学びましたか」と聞かれた時のために良いでしょう。説明能力・説得力も身につきます。

アジア研究プログラム科目

level カテゴリー	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入と理論		世界史概論A	2									
		世界史概論B	2									
		宗教学概論	2									
		○ アジア研究概論A	2									
		○ アジア研究概論B	2									
個別アジア研究					アジアの歴史IA	2		儒教文化論A	2			
					アジアの歴史IB	2		儒教文化論B	2			
					アジアの歴史IIA	2		仏教文化論A	2			
					アジアの歴史IIB	2		仏教文化論B	2			
					アジアの思想と宗教I	2						
					アジアの思想と宗教II	2						
					○ 東アジアの現代社会I	2						
					○ 東アジアの現代社会II	2						
					アジア研究特論(モンゴルに関する諸問題)	2						
					○ 比較政治IIA	2						
広域アジア研究					○ 比較政治IIB	2						
					韓国文化論	2						
					○ 中国文化論	2						
		○ イスラーム史概論	2		○ 東アジアの開発と政治I	2		○ ASEANをめぐる国際関係I	2			
					○ 東アジアの開発と政治II	2		○ イスラームの法と社会	2			
					アジアの経済	2		中東近現代史	2			
					○ ASEANをめぐる国際関係II	2		日韓交流史	2			
					○ オセアニアの政治と経済I	2						
				○ オセアニアの政治と経済II	2							
				イスラーム思想	2							
				日韓関係論	2							

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- 文化人類学概論〔2〕
- 政治学基礎〔2〕
- ・ 専攻演習 I〔2〕
- ・ 専攻演習 II〔2〕
- ・ 卒業論文〔4〕

アジア研究プログラム

2 現代中国・日中関係研究・履修モデル

本履修モデルは、現代中国の政治・経済・文化・社会及び日中関係の歴史と現状に対して興味のある学生に提示する履修モデルです。2年次に、中国語や英語を学びながら、レベル100またはレベル200で表示されている中国・アジア関連の授業を受講した方が良いでしょう。語学の習得と専門知識の把握という一石二鳥の効果が大きいと期待されます。欧米など英語圏から来日した留学生も英語の授業のみならず、日本語・中国語で行われている中国・アジア関連の授業にチャレンジしてほしいと思います。それを通して魅力ある中国またはアジアを再発見することができるでしょう。

なお、授業科目を選ぶときには、科目名だけで判断せず、シラバス等で丹念に調べ、その授業の具体的な研究地域または国家、さらに外交・文化等の専門分野も確認しておいた方が良いでしょう。3年生以上になると、レベル300以上の授業や専攻演習I、専攻演習IIの履修を強くお勧めします。

アジア研究プログラム科目

level カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入と理論		世界史概論A	2									
		世界史概論B	2									
		宗教学概論	2									
	○	アジア研究概論A	2									
	○	アジア研究概論B	2									
個別アジア研究				○	アジアの歴史IA	2	○	儒教文化論A	2			
				○	アジアの歴史IB	2	○	儒教文化論B	2			
				○	アジアの歴史IIA	2		仏教文化論A	2			
				○	アジアの歴史IIB	2		仏教文化論B	2			
					アジアの思想と宗教I	2						
					アジアの思想と宗教II	2						
				○	東アジアの現代社会I	2						
				○	東アジアの現代社会II	2						
				○	アジア研究特論(モンゴルに関する諸問題)	2						
				○	比較政治IIA	2						
				○	比較政治IIB	2						
広域アジア研究		イスラーム史概論	2	○	東アジアの開発と政治I	2	○	ASEANをめぐる国際関係I	2			
				○	東アジアの開発と政治II	2		イスラームの法と社会	2			
					アジアの経済	2		中東近現代史	2			
				○	ASEANをめぐる国際関係II	2		日韓交流史	2			
					オセアニアの政治と経済I	2						
					オセアニアの政治と経済II	2						
					イスラーム思想	2						
					日韓関係論	2						

その他の推奨科目 ※[]内は単位数

- ・ 文化人類学概論[2]
- 政治学基礎[2]
- ・ 専攻演習 I [2]
- ・ 専攻演習 II [2]
- ・ 卒業論文[4]

アジア研究プログラム

3 アジアの文化研究・履修モデル

「アジアはひとつ」といったのは、明治時代の美術評論家・岡倉天心でしたが、ひとくちにアジアの文化といっても多様なものがあります。この履修モデルは、アジアの各地域の文化・宗教・思想、さらにアジアと欧米の文化交流、アジア域内の文化交流に対し興味のある学生に提示する履修モデルです。2年次までに、英語のほかにアジア地域の言語、例えば中国語・コリア語・インドネシア語・カンボジア語・タイ語・ベトナム語などから一言語を学びつつ当該地域の文化に関する授業を受講するのが望ましいでしょう。また、アジア諸地域から来日した留学生の場合には、出身国や日本だけに目を向けず、その他のアジア地域の文化等の授業も受けることをお勧めします。

授業科目を選ぶときには、科目名だけで判断せずに、シラバスなどで丹念に調べ、その授業が対象とする具体的な地域や、できればその地域に関する政治や社会などの分野もあわせて学習する方が良いでしょう。

3年生以上になると、レベル300以上の授業や「専攻演習I」、「専攻演習II」の履修を強くお勧めします。この履修モデルのように、アジア研究プログラムの授業科目を32単位以上履修すれば、あなたは「アジア研究プログラム」をメジャーとして卒業することができます。その場合にも可能な限り他のプログラムの授業科目を履修し、幅広い視野と学識、学び方を身につけるようにしてほしいと思います。

アジア研究プログラム科目

level カテゴリー	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入と理論	<input type="radio"/>	世界史概論A	2									
	<input type="radio"/>	世界史概論B	2									
		宗教学概論	2									
	<input type="radio"/>	アジア研究概論A	2									
	<input type="radio"/>	アジア研究概論B	2									
個別アジア研究					アジアの歴史IA	2	<input type="radio"/>	儒教文化論A	2			
					アジアの歴史IB	2	<input type="radio"/>	儒教文化論B	2			
				<input type="radio"/>	アジアの歴史IIA	2	<input type="radio"/>	仏教文化論A	2			
				<input type="radio"/>	アジアの歴史IIB	2	<input type="radio"/>	仏教文化論B	2			
				<input type="radio"/>	アジアの思想と宗教I	2						
				<input type="radio"/>	アジアの思想と宗教II	2						
					東アジアの現代社会I	2						
					東アジアの現代社会II	2						
					アジア研究特論(モンゴルに関する諸問題)	2						
					比較政治IIA	2						
					比較政治IIB	2						
					<input type="radio"/>	韓国文化論	2					
				<input type="radio"/>	中国文化論	2						
広域アジア研究		イスラーム史概論	2		東アジアの開発と政治I	2		ASEANをめぐる国際関係I	2			
					東アジアの開発と政治II	2	<input type="radio"/>	イスラームの法と社会	2			
					アジアの経済	2	<input type="radio"/>	中東近現代史	2			
					ASEANをめぐる国際関係II	2		日韓交流史	2			
					オセアニアの政治と経済I	2						
					オセアニアの政治と経済II	2						
				<input type="radio"/>	イスラーム思想	2						
					日韓関係論	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- 文化人類学概論〔2〕
- ・ 政治学基礎〔2〕
- ・ 専攻演習 I〔2〕
- ・ 専攻演習 II〔2〕
- ・ 卒業論文〔4〕

アジア研究プログラム

4 イスラーム研究・履修モデル

本履修モデルは、アジア最大の宗教であり、アジア諸国の政治や社会に大きな影響を与えている、イスラームに関心を持つ学生向けの履修モデルです。イスラームを学びたい学生は、A. 思想や歴史、またはB. 時事的問題に関心をもつ人に大別されますが、どちらかに比重を置きながらも、広い視点からA、Bを組合わせた履修を心がけて下さい。例えば、イスラームの基礎知識を提供するイスラーム文化論や、イスラーム世界に限らず第三世界に共通する問題の分析に役立つ東アジアの開発と政治I・IIなどは、A、Bに共通して履修を薦めます。また、国際政治学を履修すると、現代イスラーム世界に関する理解も深まるでしょう。

また、自分のテーマの確立だけでなく、それを分析するディシプリンを持つことが大事です。入門基礎の政治学基礎や宗教学概論、または文化人類学概論など、目的に応じて必要な科目を選んで下さい。

以上とあわせて、Aの人ならアジア歴史・文化研究、Bの人なら東南アジア・広域アジア研究を中心に履修するとよいでしょう。合計32単位以上を修得すれば、アジア研究をメジャーとして卒業できますが、自分の最終的な専攻を明らかにするため、3年次には専攻演習I、IIをぜひ履修してほしいです。また、メジャー専攻者は、イスラーム世界の文化的共通語であるアラビア語または自分が興味をもつ地域の言語を1つでも学習するのが望ましいです。

アジア研究プログラム科目

level カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入と理論	○	世界史概論A	2									
	○	世界史概論B	2									
		宗教学概論	2									
	○	アジア研究概論A	2									
	○	アジア研究概論B	2									
個別アジア研究				○	アジアの歴史IA	2		儒教文化論A	2			
				○	アジアの歴史IB	2		儒教文化論B	2			
					アジアの歴史IIA	2		仏教文化論A	2			
					アジアの歴史IIB	2		仏教文化論B	2			
					アジアの思想と宗教I	2						
					アジアの思想と宗教II	2						
					東アジアの現代社会I	2						
					東アジアの現代社会II	2						
					アジア研究特論(モンゴルに関する諸問題)	2						
					○ 比較政治IIA	2						
					○ 比較政治IIB	2						
広域アジア研究					韓国文化論	2						
					中国文化論	2						
	○	イスラーム史概論	2	○	東アジアの開発と政治I	2	○	ASEANをめぐる国際関係I	2			
				○	東アジアの開発と政治II	2	○	イスラームの法と社会	2			
					アジアの経済	2	○	中東近現代史	2			
				○	ASEANをめぐる国際関係II	2		日韓交流史	2			
					オセアニアの政治と経済I	2						
					オセアニアの政治と経済II	2						
			○	イスラーム思想	2							
				日韓関係論	2							

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- 文化人類学概論〔2〕
- ・ 政治学基礎〔2〕
- ・ 専攻演習 I〔2〕
- ・ 専攻演習 II〔2〕
- ・ 卒業論文〔4〕

アジア研究プログラム

5 東アジア文化研究・履修モデル

日本、中国、韓国を含む東アジアは、歴史的に、思想的に、そして文明論的に、漢字文化圏と呼ばれてきた地域です。東アジアは、その点において、自己を形成する源流でもあり、また自己を映し出す最も重要な他者でもあります。東アジア文化という対象に、学問的な関心を持つリベラルアーツ学群の学生のために、次のような履修モデルを提案します。

アジア研究プログラム科目

level カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入と理論	○	世界史概論A	2									
	○	世界史概論B	2									
		宗教学概論	2									
	○	アジア研究概論A	2									
	○	アジア研究概論B	2									
個別アジア研究					アジアの歴史IA	2	○	儒教文化論A	2			
					アジアの歴史IB	2	○	儒教文化論B	2			
					アジアの歴史IIA	2	○	仏教文化論A	2			
					アジアの歴史IIB	2	○	仏教文化論B	2			
				○	アジアの思想と宗教I	2						
				○	アジアの思想と宗教II	2						
					東アジアの現代社会I	2						
					東アジアの現代社会II	2						
					アジア研究特論(モンゴルに関する諸問題)	2						
				○	比較政治IIA	2						
				○	比較政治IIB	2						
広域アジア研究				○	韓国文化論	2						
				○	中国文化論	2						
	○	イスラーム史概論	2	○	東アジアの開発と政治I	2		ASEANをめぐる国際関係I	2			
				○	東アジアの開発と政治II	2	○	イスラームの法と社会	2			
					アジアの経済	2	○	中東近現代史	2			
					ASEANをめぐる国際関係II	2	○	日韓交流史	2			
					オセアニアの政治と経済I	2						
					オセアニアの政治と経済II	2						
				○	イスラーム思想	2						
				日韓関係論	2							

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- 文化人類学概論〔2〕
- ・ 政治学基礎〔2〕
- ・ 専攻演習 I〔2〕
- ・ 専攻演習 II〔2〕
- ・ 卒業論文〔4〕